



季刊 チャランケ祭 開

2018 冬号
(vol.5/2019.1.31)
FREE PAPER

発行：実行委員会事務局
編集：事務局広報班

東京・中野で1994年から続いている、アイヌと沖縄人の出会いから始まった祭り—— チャランケ祭の季刊紙です。

[事務局] 〒164-0001 中野区中野5-47-5 (南国居酒屋 aman内)

TEL：080-5414-2564 (実行委員長：上里 堯) メール：charankematsuri@yahoo.co.jp

WEBサイト：<http://charanke.jimbo.com> Facebookページ：<http://www.facebook.com/Charankematsuri/>



こどもひろば

第25回 チャランケ祭2018

◎開催概要

2018年11月3日(土) 4日(日) 中野区役所前広場

【儀 式】カムイノミ／旗あげ・旗おろし・シタク

【交流ブース】アイヌブース／沖縄ブース／市民活動交流ブース

【出 演】AYNURUTOMTE [アイヌルテムテ] /いなほ保育園／上石神井琉球エイサー会／具志川倶楽部
シーサーズ&サムイーズ&三鷹三線テグーの会／東京沖縄県人会青年部エイサー隊／とおるんぺの会
中野区上鷺宮エイサーかみさぎ舞鼓打人／中野新道エイサー／中野七頭舞チャランケ祭有志組
ペウレウタリの会／森の踊り衆／與儀睦美・金城吉春・波照間史／琉球舞団昇龍祭太鼓／和光小学校
和光鶴川小学校／和光青年会（順不同・敬称略）

【飲 食】あしびなー／ハルコロ／抱瓶／山横沢／鉄板遊

【広告協賛】沖縄料理あしびなー／南国居酒屋aman /MusicbarBESPA /ヨロンキッチンカーCASTANET /抱瓶グループ
アイヌ料理ハルコロ／学校法人和光学園／民族舞踊教育研究会／高見幸明／手打ちそば山横沢／忠孝蔵
八重泉酒造／株式会社オリオンビール／ビストロクスクス／タイ屋台999／ベトナム料理モツハイバー
鎌倉酒店／沖縄料理海神／魚々楽／丸焼きチキン大衆オステリアTori Pani /あらばき協働印刷／共住懇
憲法フォークジャンボリーin東京2019／映画「まだ見ぬまちへ」の会／小林住設工事／ファームおおとね
アスナロ農園／なんごうゆめファーム／株式会社ザ・サードアイ・コーポレーション／斎藤純朗／若月塗装
株式会社おきなわ物産センター／新宿氷業株式会社／OkinawaDining HEAVEN'S BAR／カフェモモガルテン
函館アイヌ協会／山下博史／大門中村園／アハガリ／青土社／劇団ムカシ玩具 舞香／U.スペック株式会社
藤原書店／川越唐人揃い（順不同・敬称略）

【賛同金】具志川倶楽部／結いのつどい／有限会社ジャストスカイネットワーク／杉原ゆみこ／小野信也／足立信之
長男／清原勝／一坪反戦地主会関東ブロック／山根行政書士事務所（順不同・敬称略）

【資材協力】東京土建練馬支部／株式会社ファイテック *その他たくさんの方々にご協力いただきました。

【後 援】中野区／文化庁／沖縄県／HBC 北海道放送／一般社団法人 中野区観光協会

【主 催】チャランケ祭実行委員会

その他多くの方に当日カンパをいただきました。

第25回目となる今年のチャランケ祭は、開催場所を考えることから始まりました。

昨年までの四季の森公園では、かつて北口広場でやっていたような

雰囲気を作ることは難しく、準備や開催当日も難儀する点が多くありました。

場所だけでなく、祭のつくり方も見直しながら

本来みんなで踊る場を作る祭だとすれば、実行委員会って、事務局って、会長ってなんだろう、
さまざまな根幹を確かめながら少しずつ進めてきました。

確かに会場は狭くなりましたし、規模は小さくなったように思います。

それでもサンプラザを見ながら、時にブースに立ち寄りながら、民俗料理に触れながら、踊り、
獅子舞や、シタク隊、万国津梁の旗頭が会場を縦断するのを見てると、

かつて子供ながらに広場で感じたチャランケ祭の雰囲気を

少しずつではありますが、実現できたかなと思います。

遊びながらも、真剣な儀式の場にしたい。

世界で唯一のこの祭で、人々がもっと交流を深め、

民俗文化への理解を深めていくことを願っています。

第25回 チャランケ祭2018 実行委員長 上里亮

実行委員会 事務局より

*有志スタッフ募集！

祭りを一緒に育んでくれる仲間を募集しています！

運営に興味のある方はお気軽に事務局までご連絡下さい。

*第25回チャランケ祭の写真募集！

広報物などで使用する祭りの写真を集めています。

ぜひ自慢の写真を事務局アドレスまで送ってください！

編集後記

季刊紙と名付けて発行してきましたが、今後は季節に関係
なく年に数回不定期に、発行していきたいと思えます。

祭りの歴史や根幹にあるものを少しずつ学んで、インタ
ビューやプチ辞典などで発信していけたらと思っています。

これから温かくなって踊る機会が増えてきたら、

開催に向けて皆で決起できる場をつくりたいと思えます。

皆さん、今年も病氣や怪我なく元気に行きましょうね！

